

世界に発信する

二松學舎の漢文

— 日本漢文教育研究プログラム —

先に、日本人にとって漢文が身近な存在で漢文訓読体が日本の文語文、ひいては書き言葉の基礎になってきたと言いました。となると、日本を研究対象にする世界各地の日本語学文学の講座において漢文読解能力を育成することが、我々二松學舎の世界貢献になるはずです。

そこで21世紀COEプログラムの事業のひとつとして、海外における漢文教育を展開し、ポストCOEであるところの日本漢文教育研究プログラムにあっては基幹事業として発展させてきました。現状では、下図の「漢文教育ワールドネットワーク」のように、ヨーロッパ

はイタリア・ドイツ・ソウリ！ポーランド、アジアではタイ・ベトナム・中国、それにアメリカ合衆国などが対象国です。

このうち、イタリアとドイツとアメリカ合衆国にはインターネット経由でリアルタイムの授業を行い（今秋には、ハンガリーも加わる予定）、ポーランドとタイ・ベトナム・中国では現地での集中講義が行われています。近年ネット授業を実施する大学はあちこちに増えていますが、そのほとんどは同じ学内の遠隔地授業であるに過ぎません。外国の他大学に向けて授業を実施しているのは我々だけでも知れず、ひそかに誇りとするところですよ。



今や世界の漢文教育の中心に在るのが二松學舎であり、COEの課題「日本漢文学研究の世界的拠点の構築」が具体的な形を取ってきつつあります。また、二松學舎から世界に出て漢文教育を担う若人を育てることも任務です。あなたも二松學舎に来て二松學舎の漢文を世界に広げませんか。（中国文学科教授 佐藤進）

漢文教育ワールドネットワーク

